

様式第1号(第5条関係)

会議概要

会議の名称	令和7年度第3回久喜市社会教育委員会議
開催年月日	令和8年3月25日(水)
開始・終了時刻	午前10時から 12時
開催場所	鷲宮行政センター5階 生涯学習施設「まなびすと教室」
議長氏名	久喜市社会教育委員長 折原憲司
出席委員(者)氏名	小尾克人、折原憲司、桐原宏、齊藤清夏、佐伯慶子、佐藤敏江、島田博、杉山重美、寺方克彦、林成光、布施昌美、三根和、山川美智子、吉岡静子、渡辺龍二
欠席委員(者)氏名	枝重雄、杉村榮一、高橋久江、坪井文夫
説明者の職氏名	山田知加子生涯学習課長、飯塚順一スポーツ振興課長、飯野純子指導課長、齋藤英行文化振興課長、鈴木亮生涯学習課係長
事務局職員職氏名	山田知加子生涯学習課長、田中正行生涯学習課主幹、山田浩照生涯学習課主幹、富澤均仁公民館事業推進室長、飯塚順一スポーツ振興課長、飯野純子指導課長、齋藤英行文化振興課長、鈴木亮生涯学習課係長、藤本健司生涯学習課主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和8年度生涯学習関係事業計画について</li> <li>(2) 今後の久喜市の青年(青少年)教育・青年(青少年)活動の推進について(提言)に関する生涯学習課の取組について</li> </ol> </li> <li>4 その他 <p>任期満了に伴う各委員からのあいさつ・所感</p> </li> <li>5 閉会</li> </ol>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 令和8年度生涯学習関係事業計画書</li> <li>・ 資料1【質問への回答】令和8年度生涯学習関係事業計画書</li> <li>・ 資料2今後の久喜市の青年(青少年)教育・青年(青少年)活動の推進について(提言)に関する生涯学習課の取組について</li> </ul>
会議の公開又は非公開	公開
傍聴人数	0人

審議会等会議録

発 言 者・会 議 の て ん 末 ・ 概 要

司会（山田課長）

皆様、おはようございます。定刻となりましたので、ただ今から「令和7年度第3回久喜市社会教育委員会議」を開会いたします。

本日は、公私とも大変お忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、生涯学習課の山田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事に入ります前に、会議の公開等についてご説明させていただきます。

久喜市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき、審議会等の会議は原則公開とさせていただきます。公開の会議につきましては、傍聴の希望者がいれば認めることとしております。なお、本日の傍聴者は今のところおりません。

次に、会議録の作成についてでございます。会議録は、概ね1か月以内に公文書館閲覧室への配架及び市ホームページで公開することとしており、会議録作成のため、録音をさせていただきます。

発言の際にはマイクを使用させていただきますようご協力をお願いします。

事務局職員が発言する方のもとにマイクをお持ちしますので、発言はマイクが到着するまでお待ちください。

なお、会議録の作成形式は全文記録とし、会議録の確認及び署名については、委員長及び委員長が指名する委員1名にお願いさせていただきたいと存じます。

本日の出席委員でございますが、委員定数20人のうち15人でございます。

次に、会議資料の確認をさせていただきます。

事前に送付しました、令和8年度生涯学習関係事業計画書、また、本日の配布資料として、次第、資料1【質問への回答】令和8年度生涯学習関係事業計画書、資料2今後の久喜市の青年(青少年)教育・青年(青少年)活動の推進について（提言）に関する生涯学習課の取組について、社

教連会報でございます。

社教連会報については、一般社団法人 全国社会教育委員連合から情報提供いただきましたので、参考として配布いたします。

資料に不足はございませんでしょうか。

(資料不足の声なし)

司会 (山田課長)

よろしいでしょうか。

それでは、お手元の次第に基づき会議を進めさせていただきます。

はじめに、折原委員長よりごあいさつをいただきたいと存じます。

折原委員長

任期2年間、大変お世話になりました。着座にて失礼いたします。

「4. 質の高い教育をみんなに」、これは17のうち我が国が世界に評価されている開発目標の一つです。アジェンダ2030をゴールに定め世界共通の目標を起点として設定し、期限をもって逆算し取り組むべき合意。その高い評価を裏付けるのが、学ぶ、いかす、つなぐ、支えあう久喜市の生涯学習そして社会教育、それがこの会議です。ゴールに向かって本日も皆様とご一緒させていただくこと、大変ありがたく存じます。

まさに年度末である本日まで柿沼教育長はじめ、関係部局、生涯学習の皆様には、ご準備をいただき、御礼申し上げます。

わたしたちは社会教育委員定例会議の他に協議会を開催し報告書として、「第3回協議会だより」を皆様にお配りしました。ぜひ、ご覧になってください。

すでにご案内のとおりではありますが、去る1月19日現任期における柱と言える7年に一度となる大きな事業がご当地久喜市菖蒲文化会館「アミーゴ」で開催されました。主催は埼玉県教育委員会、埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会、北埼玉地区社会教育委員協議会、埼玉葛郡市社会教育振興会の事業となる埼玉県教育局東部教育事務所「令和7年度東部地区社会教育委員関

係委員・職員研修会研修会テーマ「人々をつなげる社会教育の役割」に北埼玉地区の3市と埼玉葛  
郡市9市2町の社会教育関係委員、職員の参加者の皆様に実践発表「今日からあしたへつなぐ  
久喜市社会教育委員協議会「諮問の答申・提言してありますか」久喜市社会教育委員協議会につい  
てキーパーソンは中学生・高校生「若者にとって魅力ある久喜市を目指して」の実践発表させ  
ていただくことができました。

前金子雄司委員長が立ち上げた自分ごと圧倒的当事者意識に支えられる主体的活動である久  
喜市社会教育委員「協議会」について佐伯副委員長、桐原委員と発表し、大きな反響、評価を  
賜っている声が届いております。これも皆様のおかげと感謝しております。

遡りますが、わたしたちのつなぐ財産である令和7年度第2回久喜市社会教育委員協議会が9月  
12日に開催されました。情報提供として開催地久喜市立菖蒲東小校長である布施委員による  
「地域とともにある学校づくり学校を核とした地域づくりを目指した菖蒲東小の取り組み-学校  
と地域をつなぐ-」の情報提供発表と質疑応答へとすすむなか、最後に布施委員から事前の打ち  
合わせ段階では事前に予定にはなかった「久喜市生涯学習推進会議への提言（案）」綴り文書  
が当日、私案として出されました。学校と地域をつなぐ現職校長先生が、かつての久喜市社会  
教育主事の経験、東部教育事務所で生涯学習に関わる広域的視座など所管課として高い見識か  
ら一時代を担う者としてご活躍され、行政内部を知り尽くした先生からであります。更に10月6  
日前回の第2回久喜市社会教育委員定例会議においても委員からは議題にとらわれない久喜市教  
育委員会生涯学習全体に及ぶ質問として「令和6年3月14日に提出された提言のその進捗につい  
て、この会議で確認をしなくてもいいのですか」と新議題提案にかかわる質問、意見がありま  
した。その提言「青年教育・活動の推進」という未来を起点としたゴールから道筋を描き、理  
想から組み立てるために、「期限からバックキャストする」流れが礎となり、別会議体  
である久喜市生涯学習推進会議の皆様にも組織を越えるご案内をし、組織横断し透明で開かれ  
た令和7年度第3回久喜市社会教育委員協議会を2月3日に開催することができました。その報告  
書が繰り返しますが机上の「協議会だより」です。「推進会議との協働開催」した協議会の目  
的はですが、あり方を検討する事業の単なる見直しや縮小ではありません。つなぐその為のカ  
タチを進化させこれまでの財産である積み重ねてきた経験を「次のステージ」へ新しいカタチ  
で活かす「価値を未来へ残すための聖域ない再編の為の対面での対話のはじまりです。前向き

な意見交換へ理解を深め本質に迫るあり方検討協議会、いわゆるまなびすとプラン2.9の始まりと位置づけての主体的挑戦です。今ここにいらっしゃる全員が協議会の会員ではありませんが近隣に先駆ける主体者としての協議会では15名に活躍していただいております。是非ご参画ください。いつでも扉は開かれています。

任期をとおして感じたことは、この207番まで番号を振ってありますA3の綴り。これを毎回各課から所管生涯学習課がとりまとめ、第1回、第2回、第3回と事前に配布いただいて、皆様から意見を聞く。これが、もしかしたら、委員皆様にとっての目指すべき成果への意義や狙いの逆効果になってはいないかというふうに感じました。資料の情報洪水で多くの委員の発言を委縮させてしまいかねない。大切な限られた時間の中での本来の論点が散らされる構造に結果になってはいないか。委員が核心に触れることができにくくなってはいないか。

1度は必要だと思いますけれども、2回3回と続く中で、207もの事業を全部、それを全項目1つ1つ確認するのもなかなか難しいと思います。重要な数字がたくさん出ています。でも、たくさんあるから、議題に上げるべき内容かどうか、よくわからなくなっていないかと毎回の資料があまりに大量すぎて議論を深める妨げにすらなってしまうのかとすら思いました。

そこで、2回目以降は「学ぶ」、「いかす」から、2つないし3つの議題案について、抽出して議題に上げる。または第3回は、「つなぐ」、「支えあう」について議題として出す試みはもう待ったなしではないでしょうか。

新議題になりうる本質に迫る具体的に絞られた個別事業について、明日3月26日に行われる令和7年度第2回久喜市生涯学習推進会議への提言(案)が久喜市生涯学習や埼玉県東部教育局生涯学習を知り尽くした見識高い委員から協議会で提出されています。

まなびすとプラン2の今どこにいるか、どこに進もうとしているか、期限をもって未来を起点とした、ゴールから道筋を描き理想から組み立てるための新議題が必要です。2年間通じて、皆様とご一緒させていただいた中で感じたところであります。

なお、前回の第2回定例会議での布施委員からの新議題ご提案である、令和6年3月14日に提出された「提言」その進捗に関するものが、本日の「資料2」です。

第2次久喜市生涯学習推進計画久喜市まなびすとプラン2、また、第3期久喜市教育振興基本計画の基本目標3で示されるSDG'sのゴールが持続可能になるようふるさとの社会教育が未来の

目指す理想を起点に期限をもって逆算する。そんな集いを目指し、定例会議を開くことが目的化されることがこれからもないよう進められればと思います。本日もよろしくお願い申し上げます。

司会（山田課長）

ありがとうございました。

続きまして、柿沼教育長よりあいさつを申し上げます。

柿沼教育長

皆様、こんにちは。今年は例年よりも桜の開花が早いようでありますけれども、そのような美しい季節になりましたが、先日は第11回の久喜マラソン大会、生涯スポーツの一環でもございますけれども、天候にも恵まれ、盛大に開催することができました。ありがとうございました。

この時期は、卒業とか卒園の時期であります。本市の中学校は3月13日に卒業式が、そして小学校は3月24日に、厳粛な中にも大変感動溢れる卒業式が行われました。

また一方、久喜市高齢者大学でございますけれども、2月16日に第44期35名が4年間の大学生生活を卒業しております。また2月28日には、第30期になりますけれども、9名の市民大学生が、同じく2名の市民大学大学院生が卒業しております。両大学を卒業された皆様には、これからも生涯学習を引き続いて続けていただくと同時に、様々な面から久喜市のまちづくり、地域づくりのリーダーとして活躍していただくことを願っている次第でございます。

先ほど折原委員長さんからお話がありましたが1月19日、東部地区の社会教育関係委員職員研修会、私も参加させていただきましたが、折原委員長、佐伯副委員長、桐原委員に素晴らしい実践発表を行っていただきました。皆様方には、会場の準備と運営にもご尽力いただきましてありがとうございます。

また、1月11日、令和8年久喜市二十歳の成人式が開催され、973名の二十歳を迎えた皆様に出席していただきました。70%ぐらいの出席率でありますけれども、多くの二十歳の若者に出席をしていただきました。

会場内外では、笑顔と祝福の言葉が溢れ、第二部では中学校のときの恩師からエールの言葉を送っていただくなど、今後の久喜市、ひいては日本を支える二十歳の皆さんの門出を祝福する式典になったのではと思っております。

本日は、令和8年度生涯学習関係事業計画について、事務局から報告をさせていただきます。委員の皆様方には、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

結びになりますけれども、委員の皆様方におかれましては、これまでの2年間大変お世話になりました。今後ともどうか健康に留意され、本市の生涯学習、社会教育のさらなる推進にお力添えを賜ればと願っているところでございます。どうぞよろしく願い申し上げます。

司会（山田課長）

ありがとうございました。

なお、柿沼教育長につきましては、この後、別の公務がございますので、ここで退席をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

（教育長退出）

司会（山田課長）

それでは、議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、久喜市社会教育委員に関する規則第3条第3項の規定により、折原委員長をお願いいたします。

折原委員長

それでは、しばらくの間、委員長を務めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。会議に入る前に、会議録作成後の署名については、委員長及び委員が指名する1名による署名となっておりますので、今回の会議録の署名は齊藤委員にお願いします。

それでは、議事に入りたいと思います。

初めに、議事（1）令和8年度生涯学習関係事業計画についてです。今回、委員の皆様には、

事務局から事前に資料が送付され、ご質問のある方は、メールにて連絡をしたことかと存じます。質問に対する回答について、事務局よりご説明をお願いいたします。

鈴木係長

はい、生涯学習課の鈴木と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは私から議事の(1)令和8年度生涯学習関係事業計画について説明をさせていただきます。着座にて失礼いたします。

先ほど委員長からお話がありました通り、委員の皆様には、事前に事務局から資料を送付させていただきまして、ご質問のある方につきましては、メール等でご連絡をいただいたところでございます。

今回、21事業についてご質問いただきましたので、資料の一番右上に資料1と書かれているものをご覧いただければと存じます。

21事業のうち、連番14、15、68につきましては指導課、連番81につきましてはスポーツ振興課、連番111につきましては文化振興課所管の事業になりまして、本日、各課長にもご出席いただいておりますので、これらの事業につきましては、各課長からお話させていただき、私からは、それ以外の事業についてご説明をさせていただければと存じます。

それでは資料1の1ページ、連番の18、放課後子ども教室ゆうゆうプラザの関係。どのような講座が開催されているかのご質問です。

市内21の全小学校で開催されておりまして、様々な講座を実施しておりますところでございます。

各ゆうゆうプラザによって、活動日時や講座の回数は異なりますが、最多では43講座実施しているところもございます。講座内容の大きなジャンル分けになりますが、学習活動、スポーツ活動、文化芸術活動、あとはイベント体験などに分けられ、講座の内容は多岐にわたりますので、詳細につきましては、各ゆうゆうプラザの実施報告書をホームページに掲載しておりますので、そちらでご確認いただければと存じます。

また、そちらの講座の講師について、こういった形でお願いをしているのかというご質問です。

ゆうゆうプラザには実施委員さんがおりまして、その実施委員さんのお知り合いですとか、そ

ちらから直接依頼をしているというのが大体なのかなと思います。また、市でも生涯学習の人材バンク等、各生涯学習事業でお世話になった先生等がごございますので、各ゆうゆうプラザから、例えばこういった事業をやりたいので、こういったことに詳しい先生がいらっしゃいますかとかご相談があった際に、当課が把握する講師等にご案内等をお伝えさせていただいたところがございます。

続いて講座の履歴管理・記録方法についてのご質問ですが、各ゆうゆうプラザにおきまして、活動日誌を記録していただいております。

また、様々な学習機会をケーブルテレビ等と連携して保存したらどうかのご質問です。

ケーブルテレビさんとの連携につきましては、生涯学習課において、ゆうゆうプラザに限らず、他の生涯学習関連事業で、できる限りケーブルテレビさんに取材協力等をお願いしていただき、その内容を YouTube 等で掲載いただいているところがございます。ご協力をいただいているのですが、完全な講座の保存と撮影、あと YouTube 等ですと講座の一部になるのですけれども、そちらの全編放送になりますと、無料でご協力いただける部分と、有料となる部分があるところのご回答をケーブルテレビさんからいただいております。新たな費用負担等も生じますことから、すぐに実施するのはなかなか難しいのかなとは考えているところです。今後もケーブルテレビさんに協力をお願いして、様々な周知等に努めていければと考えております。

次の質問が、2 ページ、実施委員さんの事務作業を DX 化、方針、目標、スケジュール等を聞かせてくださいということです。

ゆうゆうプラザの実施委員さんにつきましては、日頃の活動を実施するに当たりまして、様々な書類の提出等をお願いしているところがございます。

書類の提出、かなりの量になりますので、ただいま、DX 化を進めているところがございます。

ただ、我々としましては、各ゆうゆうプラザがいろいろな選択肢が取れるように、現在タブレットを 5 台ずつ配布し、山田指導主事から使い方などをご説明させていただいたところがございますが、電子機器が得意でない方や、例えば規模がそこまで大きくないので、今まで通りできてしまうといった作業もありますので、最終的な判断につきましては、各実施委員、実施委員会で、最終決定されるものと考えております。

続きまして連番の 25、子育て講座に関する質問です。人数に関してですが、実施報告書からの

数字ではあるのですが、我々も認識が誤っていた部分がございます、各学校に改めて確認しましたところ、実際の利用者は託児利用の未就学児が3名、残る42名は、就学時健診の際に来場した園児等ということで、その講座の参加者ではありませんでしたので、訂正をさせていただきたいと思います。

続きまして連番の39、PTA人権教育研修会についてでございます。いただいたご質問が、久喜市PTA連合会が解散する予定と聞きました。単位PTAも少なくなっていると聞いていますが今後どのような検証されますかとのことです。

これまでも、小・中学校保護者、教職員をはじめ、市内在住者、在勤、在学者を対象に広く市民に研修会を実施しているところでございます。

本事業につきましては、学校・地域・家庭における人権教育を推進するということで実施しておりますので、今後につきましても同様に研修会を開催し、人権意識の高揚を図っていくところでございます。

では3ページに進みまして、連番41、教育集会所事業でございます。

PTA人権教育研修会、社会人権教育指導者養成講座などのほかの人権研修との違いを教えてくださいとのご質問です。

PTA人権教育研修会や社会人権教育指導者養成講座につきましては、人権問題や差別の解消を目指しまして、市民を対象に人権意識の高揚を図っているところでございます。

教育集会所事業ですが、同和教育を推進するために設置された教育集会所におきまして、各種教育教室、講座、交流のための集会所のお祭りなどの事業を行う点が異なるところでございます。

続きまして連番42、社会人権教育、人権啓発冊子発行についてでございます。

いただいたご質問が、令和8年度事業の内容を掲載した冊子の配布対象、配布場所等についてでございます。

冊子となつてはいるのですけれども、現在は市内の小・中学校、あと公立幼稚園の保護者、また、教職員に対しまして、電子データで提供をさせていただいております。

続きまして連番の56、図書館自主事業の充実でございます。

事業の実施にあたってその市民の要望が実現したものがあれば教えてください。また、ニーズ

等はどのように把握しているのかとのご質問です。

図書館事業につきましては、児童を対象にしましたプログラミングのワークショップですとか科学の遊び教室というものを実施しております、学校への訪問時に児童生徒の興味関心が高いものを学校の先生からお伺いするほか、実際に事業に参加していただいた児童からのアンケートを参考にしているところでございます。

加えて、図書館の利用者からのリクエストですとか、貸出数が多い資料の傾向から需要のある講座のテーマ等を検討させていただいております。

また、市民の皆様の要望に沿った事業を企画・検討するために、図書館ではアンケート等を館内に設置しており、アンケート等で、利用者等のニーズの把握をしているところでございます。

続きまして4ページ、連番の64、ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動、環境課の事業でございます。

廃棄物等減量推進員のバックアップを強化していただきたいというご要望でございました。廃棄物等減量推進員の所管は資源循環推進課となりますので、私から資源循環推進課にご要望をお伝えさせていただきました。詳細につきましては個別に資源循環推進課にご相談いただきたいと思いますと考えております。

連番103、生涯学習研修大会まなびすとフォーラムについてでございます。まなびすとフォーラムでの議論の結果はどのようにフォローアップされていくか、反映する仕組みがあればとのご質問です。

まなびすとフォーラムにつきましては、様々な立場の市民が集まって、議論をしていただく場ではあるかと思えます。このため、当日のフォーラムで出る意見は、非常に幅広く、多岐にわたっているところでございます。フォーラム実施後には報告書を作成し、生涯学習推進部の委員長から市長に提出し、市職員用の電子掲示板に報告書を掲載し、各課の今後の事務の参考になるよう情報提供をさせていただいているところでございます。

続きまして5ページに移りまして、連番の117、ボランティア情報の充実でございます。

高校生ボランティアを募るために高等学校へ依頼をしに行くところがあるが、主にどなたが行ってくれるのかというご質問です。

社会教育主事の資格を持つ職員が市内高校を訪問し、ボランティア情報の提供、協力の依頼を

させていただければと考えております。

続きまして連番の 124、小・中学生ボランティア手帳の活用推進でございます。

いただいたご質問が今年度、令和 8 年の 1 月末で 20 回のボランティアの達成者が 54 名、少ないのではないのでしょうか、中学生の活躍を評価していただければ、とのことでした。

今日時点での 20 回達成者は 66 名でございました。令和 6 年度ですと 101 名、令和 5 年度ですと 100 名ということで、昨年度、一昨年に比べますと、確かに少ない状況でございます。

小・中学生がボランティア活動を通して活躍する大変有意義な事業だと思っておりますので、地域学校協働活動などを含めまして、中学生の活躍の場が増えるよう、中学生の貢献できる場となるよう、学校、地域に依頼をしてみたいと考えております。

続きまして連番 126、ライフステージに応じたボランティア活動の充実でございます。

情報提供のチラシを生涯学習課に配架とありますが、他の場所にも配架しますか、のご質問です。

ボランティアの依頼につきましては、テトルという電子的に保護者等に連絡するツールで配信を行っているところでございます。

ただ、それ以外にも関連する事業を踏まえて、各課窓口等にも配架等を検討していきたいと考えております。

では、6 ページに進んでいただきまして連番 142、特別教室棟の開放の推進でございます。

ご質問が、令和 8 年 4 月には鷺宮西小中学校の開校にあたり、わしの子ゆうゆうの活動・備品等を置く場所が現在確保されていないということで、この調整等についてでございます。

いただいたご意見等を踏まえまして、担当課と調整を図りたいと考えておりますので、ご理解いただければと存じます。

ページが進みまして 7 ページ。連番 143、情報インフラの整備でございます。

情報推進課の事業になりまして、久喜市で管轄している久喜市すべての施設の全体数、フリー Wi-Fi 未設置の久喜市すべての施設の利用者数が多い順と、年間利用者数と、施設利用者の要望はどのような方向で把握されているかのご質問です。

久喜市のすべての施設の定義が難しいのですが、市の公共施設個別施設計画という計画があるのですが、計画上の公共施設となりますと、全体数で 182 施設となっております。

また、不特定多数が利用する施設ですとか、特定の方が多く利用される施設ですとか、各施設の特色ですとか、その利用用途も施設ごとに異なるかと思えます。一律に公共施設の利用者数の大小でWi-Fiの設置を決定しているわけではないということと、年間利用者数などについて情報推進課でも把握はできないということです。

また利用者からの要望についてですが、施設を所管する担当部署がそれぞれございます。施設が、日頃から利用者のご意見やご要望をお伺いすることが多いかと思えますので、施設からの相談をもって設置の検討をしているとのことです。

続きまして連番160、高等教育機関等の積極的活用でございます。

いただいたご質問が高等教育機関など、地域・行政として、久喜工業高校との事業実績、関わり等があればご紹介ください、とのことです。

令和6・7年度の2か年度について、ものづくりに関する事業実績があるか、市の各課に確認をしたところ、子育て支援課、こども育成課、地域保健課、生涯学習課と文化振興課の5課で、該当の事業があると回答がありました。

令和6年度は46事業、令和7年度は57事業、ものづくりに関する事業の実施をしておりますが、市内高校の学生と共同で取り組んだ事例はございませんでした。

各課の事業の具体例は記載の通りになりまして、高校等の連携等につきましては、各課で検討する余地があると思えますので、ご意見として各課に申し伝えさせていただきます。

ページが進みまして8ページ、連番161、地域住民と大学生の交流の促進でございます。

高校生・大学生と地域住民との交流を促進したいとのことですが、どのようなプランでお考えですか、とのご質問です。

地域学校協働活動の場に若い世代、中学生、高校生、大学生、若い世代が関われるように、生涯学習推進部と連携をし、フォーラム等を実施していきたいと考えているところでございます。

連番185、子ども育成団体への支援の充実でございます。

久喜市子ども会育成連合会に40万円の補助金が出ていて、子ども会が減少する中、団体数と内訳、その活動の内容についてのご質問です。

久喜市子ども会育成連合会という団体がございます、今年度40万円の補助金を出しているところでございます。この連合会は、久喜市久喜子ども会育成連絡協議会、久喜市栗橋子ども会育

成連絡協議会の2団体で構成されていると伺っております。補助金の内訳ですが、20万円ずつ連合会から各育成連絡協議会にお支払いしています。郷土かるた大会ですとか、あとはサツマイモ掘りなどの活動で、補助金を活用いただいているとのこと回答をいただいております。

私からは以上です。続いて、スポーツ振興課、指導課、文化振興課から、該当事業についてお話をさせていただきます。

飯塚スポーツ振興課長

皆さんこんにちは。スポーツ振興課長の飯塚と申します。

ご質問いただきました連番81、スポーツ体験イベントの回答をさせていただきます。

どの辺りを予定していますかというご質問なのですが、令和8年度におきましてアリオ鷺宮、モラージュ菖蒲でイベントを複数回開催することを検討しているところでございますが、ちょっと補足をさせていただきたいと思います。

実績、成果として健幸スポーツフェスタというものを11月に開催させていただいているところでございます。イベントにつきましては、令和7年度に2回目を実施したところですが、令和8年度につきましては、ちょうど同じ時期、具体的には11月8日ですが、ねんりんピックという、高齢者のための健康とか、運動とかスポーツを体験できる全国から多くの方が集まるようなイベントを予定しているところでございます。

久喜市総合運動公園の総合体育館で、健康ブースも出しながら少し大きなイベントをやる予定がございまして、時期がかぶってしまうということもあり、令和8年度は、この健幸スポーツフェスタを体育館1ヶ所で開催するのではなくて、商業施設とコラボしながら、市民が気軽にスポーツ体験でき、また、健康ブースなど、健康も意識していただけるようなイベントを開催していく予定でございます。具体的な日程はまだ確定していないところですが、直近では5月17日にアリオ鷺宮で開催する予定でございます。

以上でございます。

飯野指導課長

指導課飯野でございます。指導課所管分についてご説明させていただきます。

連番 14、小学生イングリッシュキャンプ。加須元氣プラザが閉所予定と伺っており、今後の実施場所についてのご質問です。令和 8 年度は茨城県立さしま少年自然の家での実施を予定しているところです。

連番 15、中学生学力アップ教室推進事業、学力への寄与や指導者についてのご質問でございます。

久喜市ではステップアップテストという独自のテストを実施しておりまして、中学生学力アップ教室事業に参加している生徒と全体を比べたところ、久喜市ステップアップテストの伸び率、学力の伸び率が大きかったということで、一定の成果が出ているかなと思っております。

指導者についてですが、教員経験者であるとか、学習支援ボランティアを実施していた経験がある方、また教員を目指している大学生などがこの指導にあたっていただいているところでございます。

続きまして連番 68、資料 4 ページとなります。

共同オンライン分教室についてのご質問でございます。

参加した生徒は、オンライン上で教員のサポートを受けながら、自分の学びを自分のペースで進めております。また必要に応じて教員であるとか、心理士といった専門家と面接を行うこともでき、好評でございます。オンライン分教室については在籍している中学校の分教室という捉えでありますので、卒業とともに退室となっております。

令和 7 年度は中学校 3 年生の参加者がいなかったので実績はありませんが、過去の実績といたしましては、こちらに参加したお子さんについて卒業後、高校への進学実績があるということをご質問の回答とさせていただきます。

齋藤文化振興課長

文化振興課の齋藤と申します。よろしくお願いたします。連番 111、街かどコンサートについてのご質問がございました。なぜ土曜日、日曜日ではなく、平日に開催するのかということでございます。回答にも書かせていただきましたが、③、⑤、⑥については路上ライブとして、今年度初めて実施したものでございます。路上ライブ形式のコンサートで、会場を久喜駅東口の駅前広場とし、会場周辺には学習塾等も多くございますので、音の問題等でご近所迷惑とならない

かどうかを考え、曜日時間帯等を設定したものでございます。

また次の⑦、⑧についてでございますが、⑦につきましては、合併 15 周年記念事業ということも兼ねまして、久喜市美術展のオープニング開催日、初日に開催したものでございます。⑧につきましては、出演者との日程調整の結果、木曜日に開催したものでございます。

街かどコンサートにつきましては、多くの方に気軽に音楽を楽しんでいただくということを目的として開催するものでございますので、土曜日、日曜日にこだわることなく、適時開催してまいりますと考えております。文化振興課の回答は以上でございます。

折原委員長

ありがとうございました。それでは、資料 1 について何かご意見、質問があれば挙手をお願いします。

林委員

林でございます。一つひとつ丁寧にまとめいただきましてありがとうございました。個別の質問ではないのですが、全体を見渡して感じたことは、事業ごとに回答いただいたこと、それが異なる政策ごとに共通する軸がある気がしました。

ぜひ、各部局の中で、この相互の回答を自分たちと似ているところがないか、探していただいて、政策連携に一步踏み出していただくといいのではと思いました。

例えば、ゆうゆうと図書館事業は隣接しているのでは、とか。中高生の参加も、いくつかの政策の中で共通軸になるし、他にもいろいろあると思いますので、各部局間の共通軸をまとめると効果の高い生涯学習、社会教育支援ができると思いますので、ご検討ください。よろしく願いいたします。

折原委員長

林委員、ありがとうございました。生涯学習課から何かありますか。

鈴木係長

生涯学習課の鈴木です。林委員のおっしゃる通り、我々も事業を実施するにあたって、課題や悩みがあります。そういった同じ悩みもあれば、例えば、別の課ではこういった改善でうまくいったとか、他の課の成功事例が別の課でうまく生かせるように、こちらのまとめた内容を横断的に活かしていければと考えております。ご意見どうもありがとうございました。

折原委員長

はい。その他にいかがでしょうか。

山川委員

文化振興課にご質問といたしますか、お願いします。私のお願いということで発言させていただきます。

資料1の6ページに、催馬楽神楽が載っています。私もこの驚宮に住みまして、まだ十五、六年なのですが、初めて催馬楽神楽をすべて見ました。全くわかりませんでしたけれども、これが世界遺産になったと新聞で報道されています。こういうふうに大々的に取り上げられた催馬楽神楽が世界遺産になったということが、文字として漏れているんじゃないかなということを感じましたので、あえて発言させていただきました。

ぜひ、関東一古い驚宮神社で行われている催馬楽神楽の知名度を上げるということ、ご一考いただけないかと思ひまして、発言させていただきました。以上です。

折原委員長

それではお願いいたします。

齋藤文化振興課長

ご回答させていただきます。まず初めに、1点だけ訂正させていただきます。世界遺産にはまだなっておりません。令和8年にこれから申請をするところで、順調にいくと令和10年12月に、世界遺産に登録されることになってございますので、現時点ではまだ世界遺産として登録は

されてはおりません。そこだけ訂正させていただきます。

連番 60 について申し上げますと、これは鷲宮催馬楽神楽伝承教室という項目で、郷土資料館で、少しでも多くの方に今後も引き継いでいただけるよう練習教室を開催しております。

昨年 12 月ごろに新聞報道等もございましたが、文化庁が世界遺産の申請を行うこととなりましたので、市ホームページで掲載をさせていただいております。

文化庁とユネスコの動向等も踏まえ、世界遺産登録については順次、ホームページで公表していき、今後も引き続き周知を図ってまいりたいと考えております。以上でございます。

折原委員長

山川委員どうぞ。

山川委員

私が先走ってしまいました。大変失礼いたしました。こんなにすばらしいことが新聞に載っていること、それから自分が社会教育委員という関係もありまして、もう自分が勝手に舞い上がったというところもあります。大変失礼いたしました。申し訳ありませんでした

折原委員長

その他にいかがでしょうか。

杉山委員

説明ありがとうございました。資料 1 の 8 ページ、通番 39、PTA 人権教育研修会。1 回 2 回私も参加させていただきまして、大変勉強になったのですが、土曜日または日曜日の開催は難しいものなのかなと。ウィークデーですので会場の最大収容人数よりもかなり開きがある状況だったので、土日開催であれば保護者、もしくは関心のある方が参加できるのではと思うのですが、いかがでしょうか。よろしく申し上げます。

折原委員長

ありがとうございます。それでは、生涯学習課をお願いします。

山田生涯学習課長

ご質問ありがとうございました。開催の日程につきましては、お願いする講師の先生のご都合もありますので、必ずしもこちらの希望通りにはいかないところがございますが、確かにおっしゃいます通り、できるだけ参加しやすい日程を選ぶのがよろしいかと思っておりますので、今後検討させていただきますと思います。

折原委員長

それでは、議事（1）については終了といたします。所属長の皆様、ご公務大変ご多忙かと思っておりますので、ここで退席いただいても差し支えございません。ありがとうございました。

（関係所属長退出）

それでは、次第に則り、議事（2）今後の久喜市の青年(青少年)教育・青年(青少年)活動の推進について（提言）に関する生涯学習課の取組について、事務局より説明をお願いします。

鈴木係長

はい。それでは、私から議事（2）今後の久喜市の青年(青少年)教育・青年(青少年)活動の推進について（提言）に関する生涯学習課の取組についてご説明をさせていただきます。着座にて失礼いたします。

令和6年3月に久喜市教育委員会に提出されました、今後の久喜市の青年(青少年)教育、青年(青少年)活動の推進についてという提言につきまして、折原委員長から、生涯学習課の取り組み状況について伺いたいとのご質問をいただいておりますので、本日お配りした資料、右上に資料2と書かれているものに基づきまして説明をさせていただければと存じます。

生涯学習課では、市民大学、高齢者大学といった生涯学習、また放課後子ども教室、二十歳の成人式、公民館事業などの社会教育、その他人権教育や図書館の管理を含む図書館管理事業

など幅広い事業を所管、実施しているところでございます。

図書館事業、子ども大学くき、公民館事業の3事業については、提出いただきました提言の意向を特に踏まえた内容、実践しているものとしてご紹介をさせていただきたいと思っております。

それでは、資料2をご覧ください。

初めに図書館事業でございます。高校生、大学生を対象とした事業につきましては、久喜市図書館の公式ラインで情報提供し、また、小・中学生を対象とした事業につきましては、各小・中学校を通じて、図書館だより、チラシ等でPRしているところでございます。

事業講座等のテーマ設定等につきましては、学校の先生からの情報、実際に授業に参加いただいた児童生徒からのアンケートで、今後の要望等も確認させていただき、参加者が興味関心を持っていただけるようなテーマ選びや講座の選定を行っているところでございます。参考ですが、令和7年度につきましては、プログラミング、チャットGPT、またその勉強方法を学ぶ講座等を実施したところでございます。

また、市内小学校と図書館が連携して、児童の図書館利用登録を行っております。各図書館に来館することが難しい児童もいると思うのですが、そういった児童に対しましては、電子図書館を利用できるようにする、あと移動図書館という事業もございまして、車に図書を積んだ移動図書館車が、各小学校や各地区を訪問しているのですが、いつでもどこでも読書等を楽しめるよう、本に親しめるような活動を行っております。図書館に来館、移動図書館を利用した児童や先生方とコミュニケーションをとり、要望や意見等を伺って、事業に活かさせていただいているところでございます。

続いて、子ども大学くきでございます。

小学校4年生から6年生の3学年を対象とした事業で、募集にあたりましては、広報くきの他に、市公式SNS、LINE、X、フェイスブックでの周知のほか、テトルという配信ツールを活用し、保護者にも広く周知をしているところでございます。

参加児童が在籍している学校にも連絡をさせていただきまして、多くの校長先生に入学式に出席、講座をご見学いただきました。よく知っている校長先生が会場にいらっしゃったことで、初めて参加する児童も安心でき、校長先生がいてすごくうれしかったといった意見等もございまして、参加児童の自己肯定感を高めることができたのではないかと考えております。

より良くしていくため、参加児童等にアンケートをとっておりますので、そちらを参考に翌年度以降の事業実施、講座内容等に反映をさせていただいております。

最後、公民館事業ですが、公民館事業の講座につきましては、広報くき、市公式の SNS、テトルなどのさまざまな媒体で周知をさせていただいております。

事業によりましては、観光ボランティア、スポーツ推進員、食生活改善推進員協議会といった様々な団体の有識者に依頼させていただいて、事業を実施、開催しているところでございます。

また、各地区の体育祭につきましては、中学校に当日運営ボランティアのチラシを配布させていただきまして、ボランティアの協力を募っているところでございます。スポーツ少年団や地域活動を行っている団体等にボランティアとしてご協力いただいていること、あとは体育祭では老若男女が楽しめる競技が中心となっておりますので、スポーツ、運営のボランティア等を通じて、世代を超えた交流等が図られていると考えております。

取り組みのご紹介としてはこの3事業になりますが、そのほか生涯学習課においては多くの事業を所管しているところでございますので、講座・教室におきましても、市の公式の SNS ですとか、テトルなど紙媒体以外の配信ツールでの広報活動等を行い、先ほど杉山委員からもご質問がありましたけれども、例えば土日開催するなど、多くの方にご参加いただけるような工夫、検討を行っているところでございます。以上でございます。

折原委員長

ありがとうございました。参加者や満足度向上のために取り組んでいることについて、発表がありました。提言書をご覧になったことがない方、当然いらっしゃるでしょう。前金子委員長が4年間を費やして、生涯学習、社会教育全般に、担い手不足が大きくあるのではないかと、すべての事業において若い人を主体者として事業を行っていただけるようにとの提言です。

それでは、ご質問や意見あれば、お願いします。

林委員

すいません、意見というか感想なのですが、本が本棚にいっぱい並んで、本に囲まれている

だけでもそれなりに賢くなる道具だと思うんですね。今だんだん電子書籍化されていて、教科書も電子化されつつ、いろいろと揺れ動いている側面があるような気がしていて、図書の電子化と、リアルなものをどう往来していくのか。この図書を供給するってということについては、さきほど話があった移動図書館での巡回かと。先般、布施先生の学校に行って、図書室を見ましたけれども、古くてとても数が少ない。だから僕らの年代が日常的に図書館に行って、本に囲まれるという体験自体が、できてない気がするんですね。

漫画なんかでも、僕たちは電車の中で紙の漫画見てたわけですけども、今スマホで見ているというようなことも含めて、図書の概念を僕たちも1回アップデートしないといけないかと。そんな機会が用意できたら嬉しいかなと、単なるよもやま話、そんな感想でした。ありがとうございます。

折原委員長

それでは、その他にいかがでしょうか。齊藤委員、お願いします。

齊藤委員

ありがとうございます。子ども大学くきについてお話させていただきたいなと思いました。

個人的なことで申し訳ないのですが、私の娘が小学6年生で、とても運よく3年間参加させていただくことができました。身の回りの友達では、抽選に漏れてしまった子とかがいる中で、すごく人気になってきていると感じました。

3年間全部違う内容で、本当に毎回興味深い、子どもたちが学校で学べないことをちゃんと学ばせていただいて、子どもにとってとても良い機会をいただいたと感じております。また、この資料も本当に分厚い中で、基本目標が学ぶ、いかす、つなぐ、支えあうというところで、学ぶ機会は本当にたくさんあるなって感じました。その中で、基本目標の「つなぐ～学びにつなぐネットワークの推進～」という点で、私が感じたことなのですが、いつも同じ小学校内では勉強できない環境の中で、子ども大学くきに行くと、市内の他の小学校の友達ができるのが、子どもにとってすごく利点といますか、あの小学校に通っているあの子を知っている、クラブチームとかに入っていたらスポーツを通してあるかもしれませんけれども、一緒に勉強

した経験があるというのが、子どもにとってすごく財産になっていて、今でもそこで出会った友達とクラスルームを通じて時々会って遊んでという関係ができるようになって、人として繋がる財産なのかなって感じました。

せっかくの場なので、提案させていただきたいと思ったことが、例えば初日にみんなで踊ろうとか、子どもたち同士が仲良くなれたりする機会があると思うのですが、話したことがない子がまだいるので、アイスブレイクとして、毎回最初に同じグループの子同士であらためて自己紹介をしたり、どここの小学校でとか、自分の家についてとか、子ども同士が話し合えて名前も知り合える、これから学ぶテーマについてもアイスブレイクで話し合えるそういう機会があると、お互いを知りながらよりもっといろんなことを知り合えるのかなって、4日間通して繋がりが持てるのかなって、3年間お世話になりまして感じました。下にも子どもが2人いますので、これからも申し込ませていただきたいと思います。そして、子ども大学くきを応援したいと思いますので、卒業生とか何かボランティアを募集してもらえたら、今後も繋がっていくのかなって感じがしました。すいません。長くなってしまったのですが以上となります。どうもありがとうございました。

折原委員長

ありがとうございます。感想も含めて経験者ならではのご意見を賜りました。最後の質問になるかと思うのですが、ぜひ布施先生から何かあればお願いしたいのですが。

布施委員

小学校校長ということで今回参加させていただいております。前回、前任の人たちが出した提言に対して何か私たちがやらなくていいのだろうか、提言も出して終わりではなくて、それに対して社会教育委員として、私たちが何か動けないんだろうかというお話をさせていただきました。

齊藤委員のお話を聞きながら、久喜市のこの生涯学習、学ぶ、いかす、つなぐ、支えあうという4つの柱でいろいろな事業が行われている中で、学ぶことはできる環境にあるのだなというのをあらためて感じました。今回出させていただいた3つの事業についても、これまでもやっ

てきている。そこでの課題は何か、またそこからどうしたらいいのかっていうことをあらためて皆さんと一緒に考えていけたらと思いました。

特に先ほどのお話の中であった、いかす、つなぐに繋がるような、例えば中・高・大学生などの参加、参画を見込めるボランティア、子ども大学くきもそうですし、図書館事業もそうですし、公民館事業についても、中・高・大学生の若い世代が参加する手だてを皆さんと一緒に考えられたらと思ったところです。感想になってしまうのですが、以上です。

折原委員長

ありがとうございました。今年度の最後の開催ということで、今日は全員に一言ずついただく予定がありますが、1人1分ないかなという残り時間になってしまいました。大変ご理解、ご協力ありがとうございました。進行を司会へお返しいたします。ありがとうございました。

司会（山田課長）

折原委員長、ありがとうございました。それでは、「その他」でございます。

先ほど折原委員長からもお話がございましたが、各委員さんからお言葉をいただければと思います。

それでは次第の4、その他任期満了に伴う各委員からの挨拶、所感についてでございます。

今期の久喜市社会教育委員の任期は令和6年6月1日から令和8年5月31日までとなっております。本日の会議が最後の会議となります。皆様には、昨年の6月18日の委嘱式以来、本市の社会教育や生涯学習事業につきまして、ご意見をお寄せいただきますとともに、まなびすとフォーラムやまなびすと久喜、その他関係課の審議会等の委員としてご協力をいただきましたこと、深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

繰り返しになりますが、本日が最後の会議でもございますので、委員の皆様からお1人ずつ、2年間のご感想やご意見をお聞かせいただきたいと考えております。時間の都合上、1分程度でおまとめいただきますと助かります。それでは、委員長から順番に反時計回りでお願いいたします。

#### 折原委員長

感想です。207番まで振ってある通し番号、期限が曖昧であるというところから、私たちは今日ここに来るまで時計を見ながら逆算して、いろんなことを片付け、また準備しながらここに参集したわけでありますが、経営計画の逆算っていうのですか、期限が明確、数値、目的と目標がはっきりしているところが不足していると感じました。皆様のご活躍をお祈りしております。

#### 小尾委員

初めてこういう場に参加させていただきまして、あまり提言とかお役に立てたことはないのですけれども、本当にいろいろな活動があって、それぞれの方が参画してやっているということ、非常に多くを体験させていただいて、勉強になったと思っております。今期で終わりますけれども、このような活動の機会がありましたら、今度はもうちょっとお役に立てるようにしたいと思っております。どうもありがとうございました。

#### 桐原委員

桐原でございます。市政の方針、或いは具体的な施策を打っていくにあたって、まだまだ数値的な裏付けですとか、目標に対する数値的な裏付けですとか、それから実際に1年間やったことに対しての振り返りが、十分できていないのかなと感じております。私個人はどうかと言われてしまうと元も子もないのですけれども、市税を徴収して運営しているわけですから、そこは責任を持ってより効果的な活動をしていけるように、私も少しはその一助となれたらと思います。皆様のご協力本当にありがとうございました。

#### 齊藤委員

齊藤です。最後にこのような時間を取っていただきありがとうございます。2年間務めさせていただいたのですが、最初は久喜市の事業を知ることにかかってしまい、最後の最後にちょっとお話できて、満足してないのですけれども、普段母親と仕事との両立で自分の生活がいっぱいいっぱいの中、このような場で社会教育委員として、ぴりっとした空気の中で、久喜

市のこととか、いろんな方が久喜市のためにこういう事業をされている、地域の人々が貢献されているっていうのを、この2年間で感じ取ることができまして、社会教育委員一人一人がすごく高い意思を持って参加されているそういう姿に本当に感銘を受けました。

こういう機会があって、普段の生活から少し抜け出してもう少し高い視点から物事を見られる時間があったからこそ、子どもとの向き合い方とか、久喜市でこういう事業あるよって紹介ができたり繋がったりすると思いますので、本当に貴重な時間で、ぜひ今後も何か母親枠じゃないですけど、私みたいに感じるお母さんたちもいると思いますので、参加してもらえたらいいなと感じました。本当に貴重な時間をどうもありがとうございました。今後にもぜひ活かさせていただきます。ありがとうございました。

佐伯副委員長

はい。副委員長という重責を2年間やらせていただきまして、私も当初、久喜市PTA連合会からの出向ということで、PTA会長から始まったこの社会教育委員なのですが、もうあと1期を残すことになり、振り返るとこの2年間は事例発表のこともございまして、これほど社会教育について考えた2年間はなかったと思います。1期から3期までにつきましては、本当に資料を読み込んでいくつか質問するだけだったと思っていたので、とても内容の濃い2年間だったと思います。また新たにお知り合いになったり、繋がったことについて、本当にこの場をお借りして感謝申し上げたいと思います。

私の集大成としてあと2年間、また皆様にお世話になりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

佐藤委員

佐藤でございます。私は、主体的に、本当に率先して活動していらっしゃる社会教育委員の皆さんに本当に刺激を受けました。初めは行政に対して不満が多かったのですが、こういう生涯学習の事業計画書を見ると、本当にいろんなことをやっているのだなと、あらためてもうすごいなって思って、こういうことを皆さんに周知することも私の役目じゃないかなと思いました。どうもありがとうございました。

#### 島田委員

島田でございます。私はもともと教員だったので学校教育、最後は本町小と太田小で勤務したわけなんですけど、社会教育指導員として集会所の担当を6年間やって、終わった後にこちらがあるということで、社会教育委員を10年。皆さんより何もやらないで過ぎちゃった、本当に申し訳なかったなと思うんですけど、月日がたつのが早いなと感じます。私もそんな感じで手伝いできなかったですけど、近くにおりますので、こういうのはなくなりますけれども、また聞いていただければと思っております。10年間どうもありがとうございました。

#### 杉山委員

杉山です。前金子委員長のときから4年目になりますが、こういう機会を委嘱していただきまして感謝申し上げます。参加させていただいて感じたことは、久喜市約15万人いらっしゃいます。この内、何名に伝わっているのか。市の職員、たくさんいい事業をやられてると思います。先ほど申したPTAの研修会にしても、宣伝が、何て言うのですかね、伝わってなくて、すぐもったいないことだと常々思っております。何とか皆さんにわかりやすいように伝わるように、今後も市の職員も頑張っていただければと思います。どうもありがとうございました。

#### 寺方委員

寺方です。私は佐伯さんと同じく、8年間務めさせていただいて、ありがたいことにもう1期やらせていただくことになりました。今日折原委員長にもお話しましたが、ゆうゆうの委員も継続させていただくので、その青少年の教育とか、活動の場に向けて、いろいろお話をしていきたいと思います。多分皆さん感じておられると思いますけれども、お役所というのは縦割り行政なので、我々みたいな一般市民から選ばれた、あるいは団体から選ばれた人間が提言をすることによって動くことはあると思います。そういったことを皆さんに期待してやっていきたい、私もそれで動きたいと思います。よろしくお願ひします

#### 林委員

林です。2年やらせていただいて、最初、文書が送られてきて207項目を1つ1つ見ていて、いろいろと考えてきたんですけれども、何となくこういう構造で、こういう枠組みというのが、今やっとわかりかけたという気がします。次期もやらせていただくことになるので、この理解に基づいてこの社会実装された部分、チェックして、バージョンアップしていく部分に貢献できていたらなというふうに思います。どうもありがとうございました。やってよかったと思っています。

#### 布施委員

布施でございます。市内校長会からの選出ということで2年間大変お世話になりました。ありがとうございました。先ほどのお話ですけど、私たちが横軸になって縦割り行政を繋いでいかなければならないのかなってということと、あともう1つ、学校籍で来ていますので、それぞれの小・中学校、地域学校協働活動などをやっております。地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに皆さんの力が必要だと思いますので、もしお時間がありましたら、お近くの学校に顔を出していただきまして、ゆうゆうの活動のお手伝いをさせていただいたり、それこそ学校応援団でいろいろな活動を学校は行っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。本当にありがとうございました。

#### 三根委員

三根です。ここに出席できて、自分には大変勉強になったなと思っております。どうもありがとうございました。

#### 山川委員

山川です。皆さんどうもお世話になりました。私と、それから島田さん。胸がいっぱいですけど、亡くなった塚本さん。この3人が節目になります。私は公募でこの役をいただきました。最初に出会ったのは、布施さんです。その当時、生涯学習課にいらっしやいました。

学ぶ、つなぐ、いかすという言葉であらためて思い起こすと、布施さんとの出会いが今に繋

がっております。そして島田さんとも繋がっております。塚本さんとは、社会教育委員になってからずっとご一緒して、とても熱心で真面目で、親切な心持ちの方でずっと親交がありました。亡くなったという一報を受けたときには、やっぱりショックでした。今もショックです。けれど、新しい人たちに繋いでいかなければいけないということも、私はこの社会教育委員を通して、知りました。本当に長い間ありがとうございました。

#### 吉岡委員

婦人会の枠から選出されました吉岡と申します。ちょっと視点を変えまして、協議会での学びの場を提供していただきました方々に本当に感謝申し上げます。1月19日に行われました発表、とてもいい内容だったと思います。委員長と副委員長からグループLINEで、いろいろな報告、あるいはレポート本当に素晴らしいなど感心しております。3年務めさせていただきました、ここで終わるわけですが、大変お世話になりましたありがとうございます。

#### 渡辺委員

スポーツ少年団を代表して委員を委嘱されまして、2年たちました。あっという間の2年ですけれども、この生涯学習に関することに関しまして、非常に申し訳ないですけど無知でしたし、あまりその興味を持っていなかった。皆様に作っていただいているフレームに対しまして、委員の皆さんがより良い事業にするための提言だとか、苦言もあったでしょうし、シェイプアップしていく、事業をこうやっていくんだという委員の皆様のお力をすごい感じました。私は会議や協議会にもなかなか参加できませんで、何の力にもなれなかったものですから、私は留年させていただいて、お力に少しでもなれたらいいかなと思っております。よろしく願いいたします。

#### 司会（山田課長）

あらためまして、2年間ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

本日いただきましたご意見につきましては、来期の久喜市社会教育委員会議で共有をさせていただきますと存じます。

事務局からは以上でございますが、委員の皆様からは何かございますでしょうか。

(折原委員長、佐伯副委員長、山川委員から諸連絡)

司会 (山田課長)

それでは、長時間にわたりご協議いただきありがとうございました。

閉会にあたりまして、佐伯副委員長よりごあいさつをお願いいたします。

佐伯副委員長

長時間にわたりまして、皆さんにご参加いただきましてありがとうございます。

退任される皆様、本当にお疲れ様でございました。私もこの社会教育委員会議、協議会でたくさんの方の事を学び、先輩方からたくさんの方の事を教えていただきました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

先日、三女が高校を卒業しました。4月からは大学生として新生活が始まります。私は三女が小学校入学の年にPTA会長になりました。もともとおてんばさんで、入学して二、三日で学校の遊具でけがをし、保健室にお世話になった1年生の第1号として、当時の校長先生に覚えてられてしまうというエピソードがございます。手術をしたり、遊具から落ちて骨折をして、そのまま救急車で運ばれるといった、5人の子供の中で一番病院のお世話になった子供です。

どうか元気でいて欲しいと願うのは、うちの娘もそうですが、ともに社会教育委員として、同じ時間を過ごした皆様にも、またお会いできる日までお元気でとお伝えしたいと思います。

どうもありがとうございました。

司会 (山田課長)

佐伯副委員長、どうもありがとうございました。

以上をもちまして、令和7年度第3回社会教育委員会議を終了とさせていただきます。

本日は大変ありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和8年4月21日

委員長 折原 憲司

委員 齊藤 清夏

(注)特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。